学校番号	３０２６

令和8年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学)日本史演習B	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	詳説　日本史探究　(山川出版社)						
副教材等	詳説　日本史図録　(山川出版社)・改訂版　日本史用語集(山川出版社)など						

1　担当者からのメッセージ(学習方法等)

・予習よりも復習に重点をおいて学習にのぞんでください。
・小テストを実施しますので、知識(語句・年号)の定着をはかっていきます。
・身につけた知識をもとに時代像までイメージできるようになることまで求めていきます。

2　学習の到達目標

・我が国の歴史の展開を、地理的条件・世界の歴史と関連づけて総合的に理解できるようになる。
・我が国の歴史の展開を概念などを活用して多面的・多角的に考察し、課題の解決に資する能力を育成する。
・我が国の歴史に関わる諸事象を、よりより社会の実現にむけて多面的・多角的に理解することができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連つけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術と身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念をなどを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論しうる力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、多角的・多面的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	第Ⅳ部近代・現代	第13章近代国家の展開 1 日清・日露戦争と国 際関係 2 第一次世界大戦と日 本 3 ワシントン体制	b:日清・日露戦争から第一次 世界大戦後のワシントン体制下の日本及び国際状況を理解できたか。	小テスト・定期考査	レポートやワークシート	授業内容入力シート
		第14章近代の産業と生活 1 近代産業の発展 2 近代文化の発達 3 市民生活の変容と大衆文化	【1学期の評価基準】 a:近代産業の発展と近代文化について理解できたか。 b:市民の生活状況と大衆文化のさまざまな側面について理解することができたか。 c:近代産業の発展と市民の生活状況について、主体的に学ぶことができたか。	小テスト・定期考査	レポートやワークシート	授業内容入力シート
2		第15章恐慌と第二次世界大戦 1 恐慌の時代 2 軍部の台頭 3 第二次世界大戦 第16章占領下の日本 1 占領と改革	a:世界全体が恐慌に陥る中で日本にもその影響が及び、 深刻な影響が出たことを理 解できたか。 b:政党内閣が恐慌を克服する 有効な方策を示せない中、 人々の不満の受け皿として軍部が台頭してくる状況を 理解できたか。 b:軍部が台頭し、戦線が拡大 し、第二次世界大戦へと突 入～敗戦・占領までの状況 を理解できたか。	小テスト・定期考査	レポートやワークシート	授業内容入力シート
		2 冷戦の開始と興和 第17章高度成長の時代 1 55年体制 2 経済成長から高度経済成長へ 第18章激動する世界と日本 1 経済大国への道 2 冷戦の終結と日本社 会の変容	c:冷戦開始という世界の状況 の中で占領政策の転換・講和条約締結に至る流れを理解できたか。 a:55年体制が形成されるまで の状況を理解できたか。 b:高度経済成長を導いた様々な諸条件を理解できたか。 b:経済大国へと成長する日本の社会の変容を理解できたか。 【2学期の評価基準】 a:第二次世界大戦から冷戦・日本の占領・興和・高度成長期までの流れを理解でしたか。 b:第二次世界大戦ので敗戦からどのようにして日本が復興を果たし、国際社会へ復帰できのか、その構造を理解できているか。 c::第二次世界大戦から冷戦・日本の占領・興和・高度成長期までの流れを主体的に把握することができたか。	小テスト・定期考査	レポートやワークシート	授業内容入力シート

3		総復習及び問題演習	【3学期の評価基準】 a:既習した内容と関連付けながら日本史全体を理解している。時事的事象の情報を適切に選択し,活用している b:所定の課題を多面的多角的に考察し,その過程や結果を適切に表現している。 c:日本史分野全体への関心が高まっている。	小テスト	レポートやワークシート	授業内容入力シート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度